

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-269-3154

年度	平成27年度		
施設名	新潟市立坂井輪児童館	所管部・課	西区健康福祉課
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H27.11.5
歳入	10	正職員	0	修正日	
歳出	2,919	非常勤	5	評価日	

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標					H27結果
1	市民	より多くの児童に遊びの場を提供する。	利用者数	13254人	12,102人	10,874人	11,000人	11,384人		小学生と大人の利用者増で目標は達成したが、幼児は減少した。	A:達成(優)	
2	市民	多方面から関心と興味、参加意欲を持ってもらう。	広報	62回	月1回 年12回	館より月1回 区より月1回 その他随時	館より月1回 区より月1回 その他随時	館より月1回 区より月1回 その他随時	・近隣小学校新1年生への案内も行う ・館だより・区だより ・フリーペーパー ・イベント前チラシ配布	常設している館だよりを積極的に配布した。	A:達成(優)	
3	市民	利用者の満足度を高める。	苦情・要望への対応	10項目	5項目	2項目	随時対応	16項目	・アンケートボックスの設置 ・行事へのアンケート	施設改善計画のアンケートをとったので、細かい要望にも対応できた。	A:達成(優)	
4	業務	子育ての楽しさを啓発する。	子育て支援	100回	103回	95回	90回	91回	・ピヨピヨクラブ・うさちゃんクラブ・子育て講座・ベビーヨガの他、幼児親子参加行事を含む	・ピヨピヨクラブ ・うさちゃんクラブ ・子育て講座・ベビーヨガ 等	自由開放日を増やしてほしいと思っている利用者もいるので、通常クラブ等は今回の回数で限界と思う。	A:達成(優)
5	業務	心身ともに健全な成長を促進する。	年長児向け事業	14回	14回	16回	16回	17回	・マジック教室・クッキング教室 ・おたのしみ会・工作教室 等	要望を受けて、プラ板作りを1回追加して行った。	A:達成(優)	
6	業務	発達の遅れが見られる乳幼児に、親子遊びなどを通して発達を支援する	発達支援		35回	43回	40回	40回	・療育教室「だっこ」	年間通じて10組の親子が支援を受け、親子共に成長が見られて成果があった。	B:達成	
7	業務	災害時、利用者の安全を確保する	避難訓練の実施	1回	1回	2回	2回	2回	・消火訓練 ・通報訓練 等	その日來館していたの利用者とともに2回行う。消火訓練にも積極的に参加していただいた。	B:達成	
8	人材	様々な利用者の要望に応える。	職員研修の実施	12回	21回	12回	18回	20回	・児童厚生員養成講座 ・保育課・健康福祉課主催の保育研修・施設見学 等	児童厚生員養成研修以外にも保育・障がい児保育・虐待等の研修に多く参加できた。	A:達成(優)	
9	人材	急病・ケガなどに初期対応できるように努める。	普通救命講習の受講	1回	1回	1回	1回	1回	・救急法 ・AEDの使用法 ・乳幼児に起こりやすい事故やケガの応急処置	消防職員からの講習を受けた。利用者の関心も高い。	B:達成	
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>・年長児へは遊びを通じて心身ともに健全な子どもに成長するように、日々の活動・事業などで支援していきます。</p> <p>・親子へは関わりの大切さや、子育ての楽しさを啓発していくための様々な行事を設定し、また来館しやすい居場所づくりに努めていきます。</p>	<p>・毎月発行する館だよりを積極的に配布することや、小学生に行事の参加を呼びかけることで近隣の小学生人口が減っている中でも利用者増につながった。引き続き広報を行っていききたい。今後は幼児親子への利用者増も課題である。</p> <p>・保育・障がい児保育の研修に多く参加し、子育てに困っている親や子どもへの対応を学び共通理解ができてよかった。療育教室にも活かすことができるので、今後も積極的に研修に参加していきたい。</p> <p>・乳幼児親子・小学生・家族一緒に楽しめる雰囲気大切に、利用者の満足度を高めたいと思う。</p>